

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 北越銀行

上場取引所 東

コード番号 8325 URL <http://www.hokuetsubank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 久須美 隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長

(氏名) 松永 芳文

TEL 0258-35-3111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	13,580	—	1,317	—	1,691	—
20年3月期第1四半期	14,330	△0.1	2,524	10.5	1,942	△9.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	6.62	6.27
20年3月期第1四半期	7.61	7.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	2,165,633	68,252	3.0	262.95
20年3月期	2,106,317	66,414	3.0	255.69

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 67,124百万円 20年3月期 65,277百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	3.00	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、20年3月期第2四半期末を基準日とする配当金には記念配当1円00銭が含まれております。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	28,100	△4.6	3,300	△13.5	2,400	△2.1	9.40
通期	54,400	△6.3	7,700	20.4	4,700	△1.4	18.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 255,901,936株 20年3月期 255,901,936株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 627,486株 20年3月期 605,900株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 255,287,247株 20年3月期第1四半期 255,213,386株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。業績予想の具体的修正内容は、2ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績につきましては、連結経常利益は、預金利息増加等に伴う資金調達費用の増加等を主因に、前年同四半期比12億円減少し13億円（第2四半期連結累計期間業績予想比進捗率39.9%）、連結四半期純利益は、前年同四半期比2億円減少し16億円（第2四半期連結累計期間業績予想比進捗率70.4%）となりました。

事業別セグメントの業績につきましては、銀行業務は12億63百万円の経常利益、リース業務で1億円の経常利益、信用保証業務で29百万円の経常利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比593億円増加し2兆1,656億円、純資産は前連結会計年度末比18億円増加し682億円となりました。

主要勘定につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は前連結会計年度末比508億円増加し2兆247億円となりました。また、貸出金は前連結会計年度末比69億円増加し1兆1,763億円、有価証券は前連結会計年度末比2,151億円増加し8,067億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間につきましては、有価証券の入れ替え等に伴い、第2四半期に有価証券売却益を計上することなどから経常収益は増加いたしますが、有価証券売却損の計上も見込まれることなどから、経常利益及び当期純利益は前回公表どおりといたします。

通期の経常収益の増加は、第2四半期連結累計期間の経常収益の増加によるものです。

平成21年3月期連結業績予想

	経常収益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり当期純利益 円 銭
第2四半期連結累計期間	28,100	3,300	2,400	9 40
通 期	54,400	7,700	4,700	18 41

前回公表連結業績予想

	経常収益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり当期純利益 円 銭
第2四半期連結累計期間	26,100	3,300	2,400	9 40
通 期	52,400	7,700	4,700	18 40

(参考)

平成21年3月期個別業績予想

	経常収益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり当期純利益 円 銭
第2四半期累計期間	24,800	3,100	2,300	9 00
通 期	47,900	7,100	4,600	18 01

前回公表個別業績予想

	経常収益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり当期純利益 円 銭
第2四半期累計期間	22,800	3,100	2,300	9 00
通 期	45,900	7,100	4,600	18 01

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産につきましては、年度に係る減価償却の額を期間按分する方法により算定しております。

② 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成20年3月期の予想損失率を適用して計上しております。

③ 税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

④ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資 産 の 部)		
現 金 預 け 金	53,914	73,362
コールローン及び買入手形	30,379	185,770
買 入 金 銭 債 権	0	0
商 品 有 価 証 券	957	1,019
金 銭 の 信 託	17	16
有 価 証 券	806,765	591,654
貸 出 金	1,176,394	1,169,420
外 国 為 替	2,520	2,576
そ の 他 資 産	33,888	22,746
有 形 固 定 資 産	43,513	43,892
無 形 固 定 資 産	2,488	2,585
繰 延 税 金 資 産	19,565	19,548
支 払 承 諾 見 返 金	9,315	9,452
貸 倒 引 当 金	△ 14,086	△ 15,729
資 産 の 部 合 計	2,165,633	2,106,317
(負 債 の 部)		
預 金	1,955,057	1,947,318
譲 渡 性 預 金	69,650	26,560
債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	3,532	2,885
借 用 金	12,016	13,146
外 国 為 替	158	258
社 債	15,000	15,000
新 株 予 約 権 付 社 債	3,572	3,572
そ の 他 負 債	23,516	15,339
賞 与 引 当 金	259	1,037
役 員 賞 与 引 当 金	-	45
退 職 給 付 引 当 金	16	15
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	206	246
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	270	270
偶 発 損 失 引 当 金	98	85
利 息 返 還 損 失 引 当 金	95	52
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	4,617	4,617
支 払 承 諾	9,315	9,452
負 債 の 部 合 計	2,097,381	2,039,902
(純 資 産 の 部)		
資 本 金	24,485	24,485
資 本 剰 余 金	16,913	16,913
利 益 剰 余 金	31,613	30,687
自 己 株 式	△ 172	△ 167
株 主 資 本 合 計	72,839	71,919
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 8,222	△ 9,145
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 1	△ 4
土 地 再 評 価 差 額 金	2,508	2,508
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 5,714	△ 6,641
少 数 株 主 持 分	1,127	1,136
純 資 産 の 部 合 計	68,252	66,414
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,165,633	2,106,317

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
経常収益	13,580
資金運用収益	8,911
(うち貸出金利息)	(6,463)
(うち有価証券利息配当金)	(2,240)
役務取引等収益	1,740
その他業務収益	2,668
その他経常収益	260
経常費用	12,262
資金調達費用	1,741
(うち預金利息)	(1,508)
役務取引等費用	632
その他業務費用	2,511
営業経費	6,574
その他経常費用	802
経常利益	1,317
特別利益	1,466
特別損失	43
税金等調整前四半期純利益	2,740
法人税、住民税及び事業税	133
法人税等調整額	938
少数株主損失	22
四半期純利益	1,691

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	信用保証 業務	その他 業務	計	消去又は 全社	連結
経常収益							
(1)外部顧客に対する 経常収益	11,919	1,288	148	223	13,580	-	13,580
(2)セグメント間の内部 経常収益	54	437	123	118	733	(733)	-
計	11,974	1,725	272	341	14,314	(733)	13,580
経常利益(△は経常損失)	1,263	100	29	△ 74	1,317	(0)	1,317

(注) 1 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」はクレジットカード業務等であります。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び海外支店を有していないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

【国際業務経常収益】

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
経 常 収 益	14,330
資 金 運 用 収 益	8,912
(うち貸出金利息)	(6,367)
(うち有価証券利息配当金)	(2,273)
役 務 取 引 等 収 益	1,985
そ の 他 業 務 収 益	2,762
そ の 他 経 常 収 益	670
経 常 費 用	11,805
資 金 調 達 費 用	1,469
(うち預金利息)	(1,084)
役 務 取 引 等 費 用	629
そ の 他 業 務 費 用	2,006
営 業 経 費	6,896
そ の 他 経 常 費 用	803
経 常 利 益	2,524
特 別 利 益	816
特 別 損 失	104
税金等調整前四半期純利益	3,236
法人税、住民税及び事業税	123
法人税等調整額	1,154
少数株主利益	15
四 半 期 純 利 益	1,942

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	銀行業務	リース業務	信用保証 業務	その他 業務	計	消去又は 全社	連結
経常収益							
(1) 外部顧客に対する 経常収益	12,504	1,544	85	195	14,330	—	14,330
(2) セグメント間の内部 経常収益	55	250	162	99	568	(568)	—
計	12,560	1,794	248	295	14,898	(568)	14,330
経常利益	2,337	100	80	5	2,524	(0)	2,524

(注) 1 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」はクレジットカード業務等であります。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び海外支店を有していないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

【国際業務経常収益】

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

平成21年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

1. 損益状況（単体）

- コア業務粗利益は、預金利息の増加等により資金利益が減少したことや、投資信託販売の伸び悩みにより役務取引等利益が減少したことなどから、83億円（前年同四半期比△3億円）となりました。一方、コア業務純益は、経費が減少したことなどから、20億円（前年同四半期比△1億円）となりました。
- 四半期純利益は、有価証券関係損益等は減少したものの、与信関係費用が減少したことなどから、16億円（前年同四半期比△1億円）となりました。
- 四半期純利益は、第2四半期累計期間予想比72.4%の進捗率となりましたが、第2四半期において与信関係費用等が発生する可能性なども考慮し、平成21年3月期第2四半期の業績予想は平成20年5月15日公表どおりといたします。

（単位：百万円）

	当四半期 (21年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (20年3月期 第1四半期)	21年3月期 第2四半期 累計期間予想
		前年同四半期比		
業 務 粗 利 益 (コ ア 業 務 粗 利 益)	8,308 (8,364)	△ 929 (△ 382)	9,237 (8,746)	
資 金 利 益	7,162	△ 273	7,435	
役 務 取 引 等 利 益	757	△ 255	1,012	
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券損益)	389 (△ 976)	△ 400 (△ 970)	789 (△ 6)	
(うち金融派生商品損益)	(920)	(424)	(496)	
経 費 (△)	6,345	△ 213	6,558	
人 件 費 (△)	3,305	△ 70	3,375	
物 件 費 (△)	2,568	△ 96	2,664	
税 金 (△)	470	△ 48	518	
業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	1,963	△ 715	2,678	
コ ア 業 務 純 益	2,018	△ 169	2,187	4,000
①一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—	
業 務 純 益	1,963	△ 715	2,678	4,100
臨 時 損 益	△ 848	△ 449	△ 399	
②うち不良債権処理額 (△)	386	117	269	
うち株式等関係損益	△ 88	△ 162	74	
経 常 利 益	1,114	△ 1,164	2,278	3,100
特 別 損 益	1,581	802	779	
③うち貸倒引当金取崩額	1,453	755	698	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	2,695	△ 362	3,057	
四 半 期 純 利 益	1,665	△ 192	1,857	2,300
(参考) 与 信 関 係 費 用 (①+②-③)	(△ 1,066)	(△ 637)	(△ 429)	

- (注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 第2四半期累計期間予想は平成20年5月15日に公表したものです。
 3. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益－金融派生商品損益
 4. コア業務純益＝業務純益－国債等債券損益－金融派生商品損益＋一般貸倒引当金繰入額

2. 自己資本比率（国内基準）

■ 平成20年6月末の自己資本比率（速報値）は、単体9.92%、連結10.10%となりました。

【単体】

（単位：億円）

	平成20年6月末 [速報値]	平成20年3月末
(1) 自己資本比率	9.92 %	9.76 %
基本的項目(Tier I)比率	6.70 %	6.44 %
(2) 基本的項目(Tier I)の額	630	605
(3) 補完的項目(Tier II)の額	303	310
(4) 控除項目の額	0	0
(5) 自己資本の額 (2)+(3)-(4)	934	916
(6) リスク・アセット等	9,407	9,384
(7) 総所要自己資本額	376	375

【連結】

（単位：億円）

	平成20年6月末 [速報値]	平成20年3月末
(1) 自己資本比率	10.10 %	9.93 %
基本的項目(Tier I)比率	6.88 %	6.63 %
(2) 基本的項目(Tier I)の額	657	631
(3) 補完的項目(Tier II)の額	307	314
(4) 控除項目の額	0	0
(5) 自己資本の額 (2)+(3)-(4)	964	945
(6) リスク・アセット等	9,546	9,522
(7) 総所要自己資本額	381	380

(注) 1. リスク・アセット等算出において、信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナル・リスクについては「基礎的手法」をそれぞれ採用しております。
2. 総所要自己資本額は、リスク・アセット等に4%を乗じた額であります。

3. 不良債権の状況

■ 金融再生法ベースの開示債権額は、平成20年3月末から単体は13億円減少し433億円、連結は13億円減少し438億円となりました。不良債権比率は単体3.54%、連結3.59%となりました。

【単体】

（単位：億円）

	平成20年6月末	20年3月末比	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	62	8	54
危険債権	308	△ 30	338
要管理債権	62	9	53
小計 (A)	433	△ 13	446
正常債権	11,800	83	11,717
合計 (B)	12,234	71	12,163
不良債権比率 (A)／(B)	3.54 %	△ 0.12 %	3.66 %

【連結】

（単位：億円）

	平成20年6月末	20年3月末比	平成20年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	66	7	59
危険債権	309	△ 29	338
要管理債権	62	9	53
小計 (A)	438	△ 13	451
正常債権	11,758	87	11,671
合計 (B)	12,196	74	12,122
不良債権比率 (A)／(B)	3.59 %	△ 0.13 %	3.72 %

(注) 当行は部分直接償却を実施しております。

4. 時価のある有価証券の評価損益

■ 時価のあるその他有価証券の評価差額は、単体 △137億円、連結 △132億円となりました。

【単体】

	平成20年6月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	7,450	△ 137	111	249	5,262	△ 136	85	222
株 式	402	72	99	26	368	38	74	35
債 券	6,089	△ 133	9	142	3,995	△ 96	9	106
そ の 他	958	△ 76	2	79	898	△ 78	1	80

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。子会社・関連会社株式は該当がないため記載しておりません。

	平成20年6月末				平成20年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	336	△ 6	0	6	370	△ 0	1	2

【連結】

	平成20年6月末				平成20年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	7,457	△ 132	117	249	5,269	△ 131	90	222
株 式	409	77	104	26	375	43	78	35
債 券	6,089	△ 133	9	142	3,995	△ 96	9	106
そ の 他	958	△ 76	2	79	898	△ 78	1	80

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成20年6月末				平成20年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	336	△ 6	0	6	370	△ 0	1	2

5. 貸出金、預金等の残高(単体)

- 貸出金の残高は、前年同四半期末比361億円増加し1兆1,848億円となりました。
- 預金等の残高は、個人預金の増加を主因に前年同四半期末比882億円増加し2兆276億円となりました。
- 個人預り資産の残高は、お客さまの多様化する資産運用ニーズに対応した取り組みを継続したことにより、前年同四半期末比856億円増加し1兆6,439億円となりました。

(1) 貸出金

(単位:億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
貸出金(末残)	11,848	11,782	11,487
うち個人ローン	3,632	3,649	3,637
うち新潟県内	10,417	10,452	10,202

(2) 預金等

(単位:億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
預金等(末残)	20,276	19,767	19,394
うち個人預金	14,191	13,982	13,482
うち新潟県内	19,561	19,100	18,756

(注) 預金等=預金+譲渡性預金

(参考) 個人預り資産

(単位:億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
個人預り資産残高	16,439	16,129	15,583
預金	14,191	13,982	13,482
国債等	668	674	680
投資信託	785	724	820
保険	793	748	600

(注) 保険=年金保険+一時払終身保険

以上

本件に関するお問い合わせ先
 総合企画部 武士俣・石山 TEL 0258-39-7350